

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公表番号】特表2002-534379(P2002-534379A)

【公表日】平成14年10月15日(2002.10.15)

【出願番号】特願2000-591989(P2000-591989)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/14	(2006.01)
A 6 1 K	31/137	(2006.01)
A 6 1 K	31/138	(2006.01)
A 6 1 K	31/165	(2006.01)
A 6 1 K	31/404	(2006.01)
A 6 1 K	31/4704	(2006.01)
A 6 1 K	31/5377	(2006.01)
A 6 1 K	31/55	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/14
A 6 1 K	31/137
A 6 1 K	31/138
A 6 1 K	31/165
A 6 1 K	31/404
A 6 1 K	31/4704
A 6 1 K	31/5377
A 6 1 K	31/55
A 6 1 P	9/00
A 6 1 P	9/04
A 6 1 P	9/06
A 6 1 P	9/10

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年3月17日(2010.3.17)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 心血管障害の予防および／または治療のための医薬キットであって、
ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、
促進アニオンまたはその医薬上許容される塩、および
抗降圧剤および／または-受容体遮断剤を含んでなり、

該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、トシレートアニオンより親水性が低く、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩、および該抗降圧剤および／または該-受容体遮断剤が、治療上有効

な量で該医薬キット中に存在する、医薬キット。

【請求項 2】 心血管障害の予防および／または治療のための経口投与用の医薬キットであって、

ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および
促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含んでなり、

該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、トシレートアニオンより親水性が低く、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、患者（対象）による摂取の際に患者（対象）の胃腸管内でブレチリウムカチオンおよび促進アニオン両者を含む混合物を形成し、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、治療上有効な量で該医薬キット中に存在し、かつ

該医薬キットの該成分の全てがヒトに経口投与された場合、該経口投与後30分にわたる時間に対して該ヒト心筋内のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積が、該医薬キット中の該成分の全ての経口投与によって供給されるものと同量のブレチリウムカチオンを供給する量のブレチリウムトシレートを該経口投与した後30分にわたる時間に対してヒト心筋内のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積よりも大きい、医薬キット。

【請求項 3】 心血管障害の予防および／または治療のための経口投与用の医薬キットであって、

ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および
促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含んでなり、

該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、トシレートアニオンより親水性が低く、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、患者（対象）による摂取の際に患者（対象）の胃腸管内でブレチリウムカチオンおよび促進アニオン両者を含む混合物を形成し、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が治療上有効な量で該医薬キット中に存在し、かつ

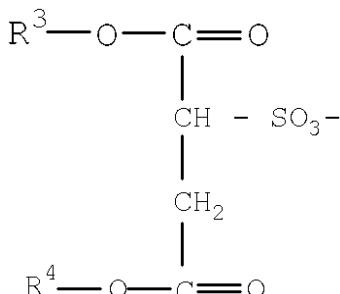
該医薬キットの該成分の全てがヒトに経口投与された場合に、該経口投与後30分にわたる時間に対してヒト血中のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積が、該医薬キットの該成分の全ての経口投与によって供給されるものと同量のブレチリウムカチオンを供給する量のブレチリウムトシレートを該経口投与した後30分にわたる時間に対してヒト血中のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積よりも大きい、医薬キット。

【請求項 4】 心血管障害の予防および／または治療のための医薬キットであって、

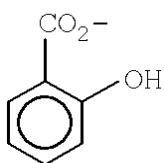
ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、
中和剤、抗降圧剤および／または-受容体遮断剤、および
促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含んでなり、

該促進アニオンは、該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、下記群
 $R^2SO_3^-$ 、

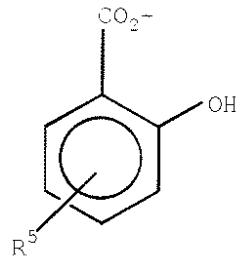
【化 1】



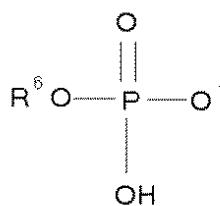
【化 2】



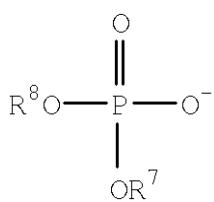
【化 3】



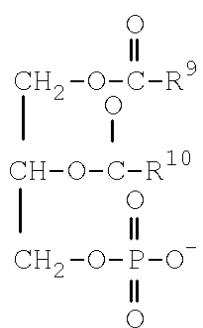
【化 4】



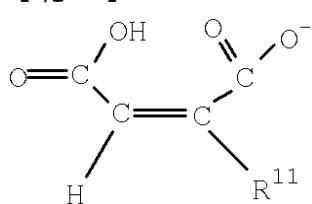
【化 5】



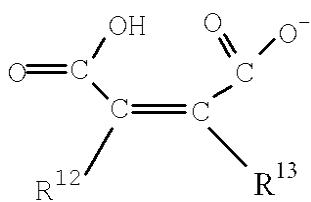
【化 6】



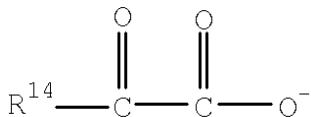
【化 7】



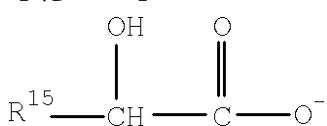
【化 8】



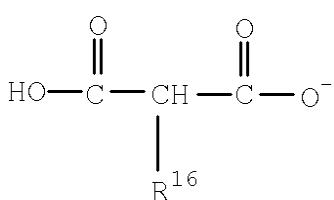
【化 9】



【化 1 0 】



【化 1 1】



擬似二十面体カルボランアニオン($C_{11}B_{12}H_{12}^-$)および置換擬似二十面体カルボランアニオン

(式中、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 、 R^7 、 R^8 、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 、 R^{16} および置換擬似二十面体カルボランアニオンの置換基は独立的にヒドロカルビルまたは置換ヒドロカルビルである)

からなる群より選択され、かつ、

該プレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩；該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩；および該中和剤、該抗降圧剤および／または該-受容体遮断剤が、治療上有効な量で該医薬キット中に存在する、医薬キット。

【請求項 5】 心血管障害の予防および／または治療のための医薬キットであって、
ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および

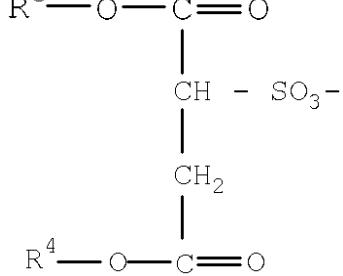
促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含んでなり、

該促進アニオンは、該ブレチリウムカチオンの吸収を促進す

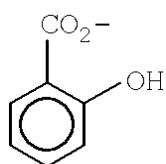
R₂SO₃

6

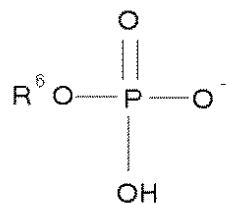
- 3



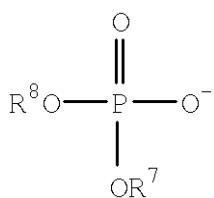
【化 1 3】



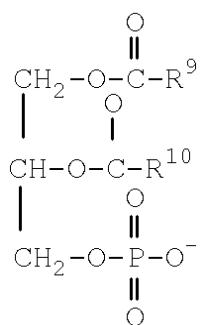
【化 1 4】



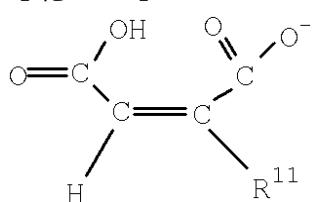
【化 1 5】



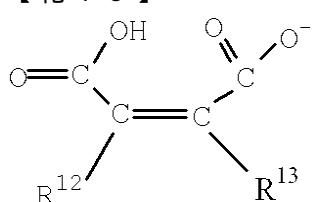
【化 1 6】



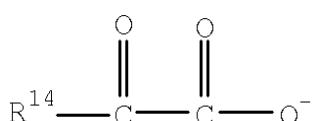
【化 1 7】



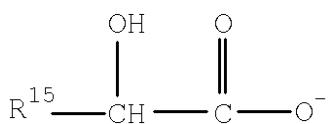
【化 1 8】



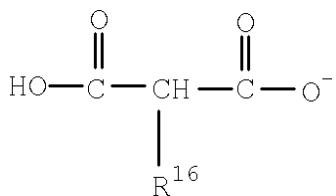
【化 1 9】



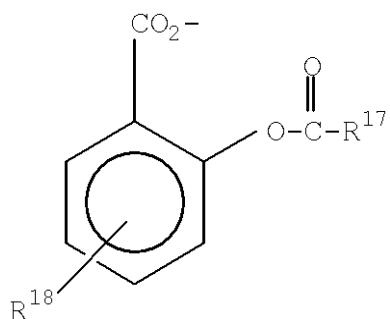
【化 2 0】



【化21】



【化22】



擬似二十面体カルボランアニオン($\text{C}_{\text{B}_{11}}\text{H}_{12}^-$)および

置換擬似二十面体カルボランアニオン

(式中、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^6 、 R^7 、 R^8 、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 、 R^{16} 、 R^{17} および置換擬似二十面体カルボランアニオンの置換基は独立的にヒドロカルビルまたは置換ヒドロカルビルであり、

R^{18} は、水素、ヒドロカルビルまたは置換ヒドロカルビルである)

からなる群より選択され、かつ、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、治療上有効な量で該医薬キット中に存在する、医薬キット。

【請求項6】 心血管障害の予防および/または治療のための経口投与用の医薬キットであって、

ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および

サリチラート、アセチルサリチラート、ラウリルスルフェート、ジ(2-エチルヘキシル)スルホスクシネート、ジ(2-エチルヘキシル)ホスフェート、ヘキサデシルスルフォネートおよびジパルミトイロスファチデートからなる群から選択される促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含んでなり、該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、患者(対象)による摂取の際に患者(対象)の胃腸管内でブレチリウムカチオンおよび該促進アニオン両者を含む混合物を形成し、かつ

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩および、該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、治療上有効な量で該医薬キット中に存在する、医薬キット。

【請求項7】 心血管障害の予防および/または治療のための医薬キットであって、

ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、

中和剤、抗降圧剤および/または-受容体遮断剤、および

サリチラート、アセチルサリチラート、ラウリルスルフェート、ジ(2-エチルヘキシル)スルホスクシネート、ジ(2-エチルヘキシル)ホスフェート、ヘキサデシルスルフォネートおよびジパルミトイロスファチデートからなる群から選択される促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含んでなり、該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収

を促進するアニオンであり、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩、および該中和剤、該抗降圧剤および/または該-受容体遮断剤が、治療上有効な量で該医薬キット中に存在する、医薬キット。

【請求項 8】 前記促進アニオンがアセチルサリチル酸またはその医薬上許容される塩を含む、請求項 6 に記載の医薬キット。

【請求項 9】 ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含む組成物を含む、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の医薬キット。

【請求項 10】 心血管障害の予防および/または治療のための、

ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、

促進アニオンまたはその医薬上許容される塩、および

抗降圧剤および/または -受容体遮断剤を含む医薬組成物であって、

該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、トシレートアニオンより親水性が低い、医薬組成物。

【請求項 11】 心血管障害の予防および/または治療のための、ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および

促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含む、経口投与用の医薬組成物であって、

該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、トシレートアニオンより親水性が低く、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、患者(対象)による摂取の際に患者(対象)の胃腸管内でブレチリウムカチオンおよび促進アニオン両者を含む混合物を形成し、かつ

該医薬組成物の該成分の全てがヒトに経口投与された場合、該経口投与後30分にわたる時間に対して該ヒト心筋内のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積が、該医薬組成物中の該成分の全ての経口投与によって供給されるものと同量のブレチリウムカチオンを供給する量のブレチリウムトシレートを該経口投与した後30分にわたる時間に対してヒト心筋内のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積よりも大きい、医薬組成物。

【請求項 12】 心血管障害の予防および/または治療のための、

ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および

促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含む、経口投与用の医薬組成物であって、

該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、トシレートアニオンより親水性が低く、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、患者(対象)による摂取の際に患者(対象)の胃腸管内でブレチリウムカチオンおよび促進アニオン両者を含む混合物を形成し、かつ

該医薬組成物の該成分の全てがヒトに経口投与された場合に、該経口投与後30分にわたる時間に対してヒト血中のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積が、該医薬組成物の該成分の全ての経口投与によって供給されるものと同量のブレチリウムカチオンを供給する量のブレチリウムトシレートを該経口投与した後30分にわたる時間に対してヒト血中のブレチリウムカチオン濃度をプロットしたときの面積よりも大きい、医薬組成物。

【請求項 13】 心血管障害の予防および/または治療のための、

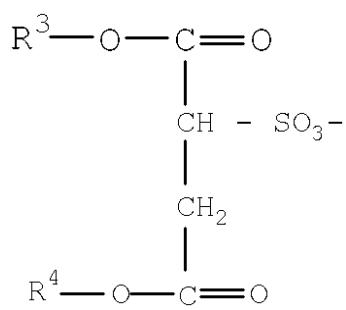
ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、

中和剤、抗降圧剤および/または -受容体遮断剤、および

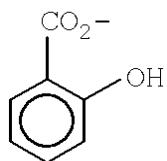
促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含む医薬組成物であって、

該促進アニオンは、該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、下記群 R²SO₃⁻、

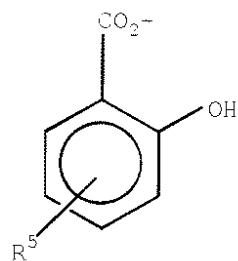
【化 2 3】



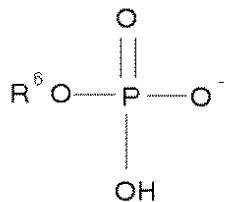
【化 2 4】



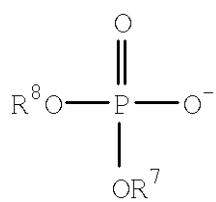
【化 2 5】



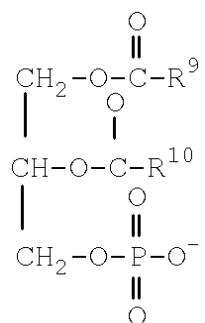
【化 2 6】



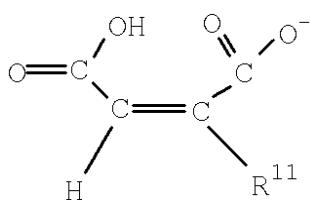
【化 2 7】



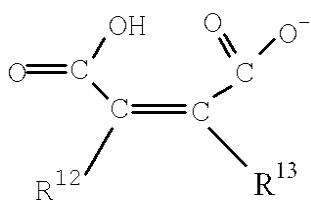
【化 2 8】



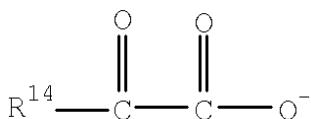
【化 2 9】



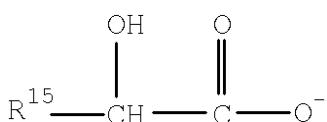
【化30】



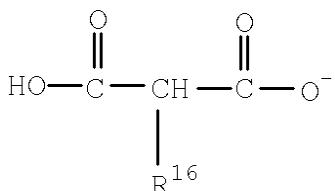
【化31】



【化32】



【化33】



擬似二十面体カルボランアニオン($\text{C}_{\text{B}_{11}}\text{H}_{12}^-$)および
置換擬似二十面体カルボランアニオン

(式中、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^5 、 R^6 、 R^7 、 R^8 、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 、 R^{16} および置換擬似二十面体カルボランアニオンの置換基は独立的にヒドロカルビルまたは置換ヒドロカルビルである)

からなる群より選択される、医薬組成物。

【請求項14】 心血管障害の予防および/または治療のための医薬組成物であって

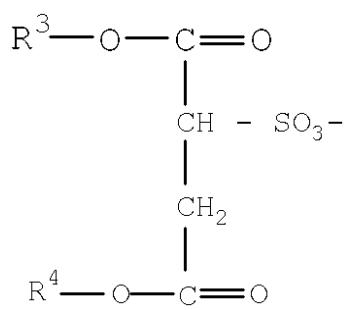
、
ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および

促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含んでなり、

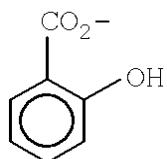
該促進アニオンは、該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、下記群

R^2SO_3^- 、

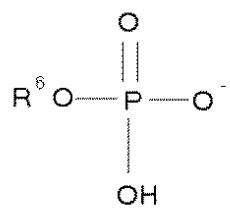
【化34】



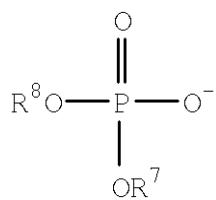
【化 3 5】



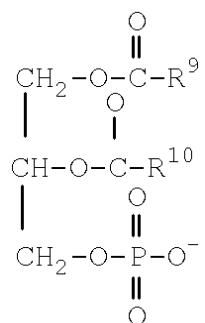
【化 3 6】



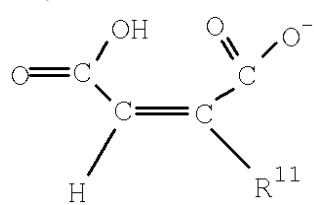
【化 3 7】



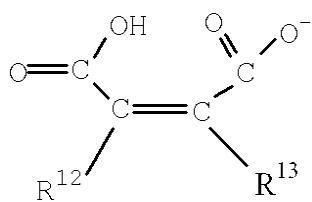
【化 3 8】



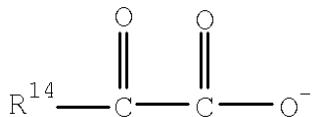
【化 3 9】



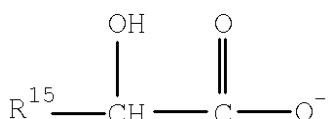
【化 4 0】



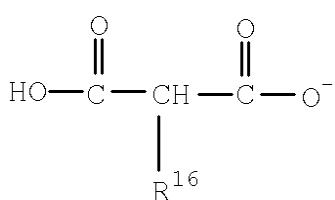
【化4 1】



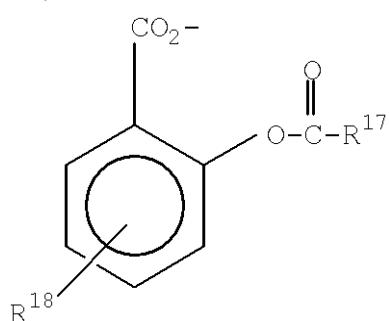
【化4 2】



【化4 3】



【化4 4】



擬似二十面体カルボランアニオン($\text{C}_{\text{B}_{11}}\text{H}_{12}^-$)および

置換擬似二十面体カルボランアニオン

(式中、 R^2 、 R^3 、 R^4 、 R^6 、 R^7 、 R^8 、 R^9 、 R^{10} 、 R^{11} 、 R^{12} 、 R^{13} 、 R^{14} 、 R^{15} 、 R^{16} 、 R^{17} および置換擬似二十面体カルボランアニオンの置換基は独立的にヒドロカルビルまたは置換ヒドロカルビルであり、

R^{18} は、水素、ヒドロカルビルまたは置換ヒドロカルビルである)

からなる群より選択される、医薬組成物。

【請求項15】 心血管障害の予防および/または治療のための、

ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、および

サリチラート、アセチルサリチラート、ラウリルスルフェート、ジ(2-エチルヘキシル)スルホスクシネート、ジ(2-エチルヘキシル)ホスフェート、ヘキサデシルスルフォネートおよびジパルミトイロスファチデートからなる群から選択される促進アニオンまたはその医薬上許容される塩を含む、経口投与用の医薬組成物であって、

該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、

該ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩および該促進アニオンまたはその医薬上許容される塩が、患者(対象)による摂取の際に患者(対象)の胃腸管内でブレチリウムカチオンおよび該促進アニオン両者を含む混合物を形成する、医薬組成物。

【請求項 16】 心血管障害の予防および／または治療のための、
ブレチリウムカチオンまたはその医薬上許容される塩、
中和剤、抗降圧剤および／または -受容体遮断剤、および
サリチラート、アセチルサリチラート、ラウリルスルフェート、ジ(2-エチルヘキシル)
スルホスクシネート、ジ(2-エチルヘキシル)ホスフェート、ヘキサデシルスルフォネ
トおよびジパルミトイルホスファチデートからなる群から選択される促進アニオンまたは
その医薬上許容される塩を含む医薬組成物であって、
該促進アニオンは該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンである、医薬組成
物。

【請求項 17】 前記促進アニオンがアセチルサリチル酸またはその医薬上許容され
る塩を含む、請求項 15 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】 ブレチリウムアセチルサリチラートを含む、医薬組成物。

【請求項 19】 ブレチリウムサリチラートを含む、医薬組成物。

【請求項 20】 ブレチリウムラウリルスルフェートを含む、医薬組成物。

【請求項 21】 ブレチリウム塩および抗降圧剤を含む医薬組成物であって、該ブレチリウム塩が、ブレチリウム・ジ(2-エチルヘキシル)スルホスクシネート、ブレチリウムサリチラート、ブレチリウムアセチルサリチラート、ブレチリウムラウリルスルフェート、ブレチリウム・ジ(2-エチルヘキシル)ホスフェート、およびブレチリウムヘキサデシルスルホネートからなる群から選択される、医薬組成物。

【請求項 22】 心房細動の処置のための、アスピリンおよびブレチリウムイオンを
含む、心房細動の疑いがある患者に投与される、抗細動医薬組成物。

【請求項 23】 心血管障害の処置のための、ブレチリウム塩および抗降圧剤を含む
医薬組成物であって、

ブレチリウム塩は、ブレチリウムジ(2-エチルヘキシル)スルホスクシネート、ブレチリウムサリチラート、ブレチリウムアセチルサリチラート、ブレチリウムラウリルスルフェート、ブレチリウムジ(2-エチルヘキシル)ホスフェートおよびブレチリウムヘキサデシルスルホネートからなる群から選択され、該医薬組成物は心血管障害の疑いがある患者に投与されるものである、医薬組成物。

【請求項 24】 心血管障害の処置のための医薬組成物を調製するためのブレチリウムカチオン、促進アニオン、抗降圧剤および／または -受容体遮断剤の使用であって、
該促進アニオンは、該ブレチリウムカチオンの吸収を促進するアニオンであり、トシレートアニオンよりも親水性が低く、該医薬組成物はかかる心血管障害の疑いがある患者に投与されるものである、使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0050

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0050】

もう1つの好ましい実施態様で、促進アニオンは、(C₁₀-C₃₀)アルキルスルフェートアニオン、(C₁₀-C₃₀)アルキルスルホネートアニオン、(C₆-C₁₂)アルキルスルホスクシネートアニオン、サリチラートアニオン、(C₁-C₃₀)アルキルサリチラートアニオン、(C₁₀-C₃₀)アルキルホスフェートアニオン、ジ(C₈-C₁₂)アルキルホスフェートアニオン、ジ(C₁₀-C₃₀)アルカノイルホスファチデートアニオン、(C₈-C₂₂)アルキルマレートアニオン、ジ(C₄-C₁₂)アルキルマレートアニオン、—-ケト(C₉-C₂₁)カルボキシレートアニオン、—-ヒドロキシ(C₉-C₂₁)カルボキシレートアニオン、(C₁₂-C₂₂)アルキルマロネートアニオン、および(C₁-C₁₈)アルキル擬似二十面体カルボランアニオンからなる群より選択されるアニオンを含む。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 6 3

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 6 3】

また、ブレチリウムカチオンと促進アニオンは、同じ化合物に由来しても、異なる化合物に由来してもよいと理解すべきである。例えば、ブレチリウムカチオン供給源と促進アニオン供給源はブレチリウムカチオンが促進アニオンと対をなしている医薬上許容される塩のような、ブレチリウムカチオンと促進アニオンを含む単一の化合物であってもよい。かかる化合物としては例えば、ブレチリウムジ(2-エチルヘキシル)スルホスクシネート、ブレチリウムサリチラート、ブレチリウムジ(2-エチルヘキシル)ホスフェート、ブレチリウムラウリルスルフェート、およびブレチリウムヘキサデシルスルホネートが挙げられる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 8 5

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 8 5】

2. 米国特許第5,814,336号でKeimらは、水に不溶のポリアニオンポリマーおよびpHが約5から約6.3未満である水溶液を含む、少なくとも約250 μmの厚さの高分子腸溶コーティングを記載している。Keimらが好適であると報告している腸溶コーティング剤の例としては、セルロースアセテートフタレート、セルロースアセテートトリメリエート、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート、ヒドロキシプロピルメチルセルロースアセテートスクシネート、ポリビニルアセテートフタレート、ポリ(メタクリル酸、メタクリル酸メチル)1:1、ポリ(メタクリル酸、アクリル酸エチル)1:1、およびそれらの適合する混合物が挙げられる。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 8 6

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 8 6】

3. 米国特許第5,914,132号でKeimらは、小腸および結腸の間の接合部付近(または結腸内)まで有効成分の放出が妨げられる多層高分子腸溶コーティングを開示している。この多層コーティングは、(1)約6.8から約7.2の間のpHで溶け始める厚さ約20から約50 μmの外層と、(2)約5から約6.3のpHで溶け始める厚さ約90から約300 μmの内層を持つ。Keimらが外層コーティングに好適であると報告している腸溶コーティング剤の例としては、ポリ(メタクリル酸、メタクリル酸メチル)1:2、およびポリ(メタクリル酸、メタクリル酸メチル)1:1とポリ(メタクリル酸、メタクリル酸メチル)1:2の約1:10から約1:2の比率の混合物がある。Keimらが内層コーティングに好適であると報告している腸溶コーティング剤の例は、米国特許第5,814,336号に好適なコーティングであると記載されているものと同じである。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 1 0 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 1 0 2】

B. 促進アニオン

本発明の医薬組成物およびキットにおけるブレチリウムカチオンに対する促進アニオン

のモル比は、好ましくは少なくとも約0.5、より好ましくは少なくとも約0.75、いっそう好ましくは約0.75から約4、なおいっそう好ましくは約1から約2である。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 8 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 8 2】

イヌにおいて測定された心室細動閾値、有効心室不応期、および調律Q-T_c間隔を表15Aに示す。

【表18】

表15A

患者(対象)	最終投与後 の時間 (時間)	VFT (mamp)	EVRP (ミリ秒)	調律Q-T _c 間隔 (秒)
非処理 イヌ (平均値)	N/A	0.5	135	270
イヌ1:	2.75	>5.0 (5.0 mamp が最大 有効電流であった)	205	408 ¹
	5	4.25	223	388 ¹
	8	3.0 ¹	220	380 ¹
	10	2.45 ¹	224	374 ¹
イヌ2:	2	>5.0	219	400
	5	4.0 ¹	208	388 ¹
	10	2.5 ¹	224	374 ¹

¹ 1回の低電流ショックで容易に除細動